



広域行政の推進!

私は我孫子市という枠にこだわらず常に広域的な立場で活動を展開しています。東葛地域六市(我孫子、柏、松戸、流山、野田、鎌ヶ谷)で構成し、広域的な街づくりについて調査研究している「東葛広域行政連絡協議会」、お隣の柏市と手賀沼を生かした街づくりの方向性を広域的に検討する「手賀沼を生かしたまちづくり推進協議会」、古利根沼の保全や利根川の有効活用等を図る目的で発足した「我孫子市・取手市都市づくり連絡協議会」のメンバーになっています。また、労組系議員で構成している連合千葉議員団(百十四名)の幹事長として多くの議員ネットワークを構築しています。交通網が発達し、生活圏が拡大するなか、各種行政課題の解決に向けて広域行政の連携、強化の必要性は日増しに重要になっています。

安倍首相の突然の辞任!

九月定例会市議会、一般質問の行われていた九月十二日、国会では安倍首相が突然の辞意表明。私はそのタイミングの悪さに驚きました。なぜなら、政権発足から一年弱という短期間で政権を明け渡すことや、参議院選挙で惨敗後に内閣改造を断行した上に、所信表明演説も終え、代表質問が始まるまさに直前だったからです。誰も予測できないタイミングの辞任劇でした。

辞任記者会見での首相の疲れ果て、若さを失ったあわれな姿に、愕然としました。辞任の理由も納得のいく

説明がないまま、一国の長が突然政権を投げ出した責任は重大なものがあります。古来、政治家という職業は宿命的に権力闘争がつきまとい、そこで世論や政敵に向けて発する言葉を操る力が鍛えられるものと思います。世界に冠たる日本のトップが、国内的にも対外的にも、これほど言葉が軽く扱った不十分な説明というものがあったてよいものか、本当に残念なことと強く憤りを感じました。

今期、最後の九月定例会市議会終了!

議員任期最後の議会、九月議会が終了しました。九月議会は九月三日から二十六日まで、二十四日間開催されました。任期最後の議会となるため、質問に登壇する議員も多く、緊急質問を含めると、議長(私)を除く、二十八人の議員中、十七人が質問に立ちました。

提出された議案は二十二議案で、開発行為に関する条例の全部を改正する条例や火災予防条例の一部改正市道路線の認定と変更、平成十九年度一般会計・特別会計の補正予算、平成十八年度一般会計・特別会計の決算認定、我孫子駅前土地区画整理事業内明け渡しを求める提訴提起、中峠大和団地斜面崩落事件和解についてなど、全議案が可決されました。請願・陳情関係では平成二十年度からの特定健康診断・保健指導実施に向けた請願や悪質商法を助長するクレジット被害を防止するための意見書の提出、公団住宅の売却・削減をやめさせる意見書の提出など七件が審査されました。

《主な論点となった課題》

- ① 我孫子駅舎改修 (自由通路改修計画)
- ② 農産物直売所のあり方 (公設民営化)
- ③ 千葉柏道路 (国道十六号バイパス利根川ルート)
- ④ 治水 (若松地区・布佐地区等 水害対策)
- ⑤ 成田線の利便化など
- ⑥ 経済の活性化策 等

《九月補正予算に注目!》

九月一般会計補正予算の総額は一億六千万円。主な事業として、①我孫子駅自由通路設計業務委託料四千万円、②農産物直売所整備費・用地賃借料七百二十万円、③工業振興事務費・土地利用の調査・研究業務委託五百万円などでした。中でも我孫子駅自由通路設計業務委託料が高額である問題や、農産物直売所の採算性、アンテナショップの経営状況、民設民営から公設民営へ変わった市の基本方針など活発な論議が交わされました。

私の所属する、会派あびこ二十一人は、以下の質問と提言を行いました。

- ① 自然との共生について(コウノトリで有名な兵庫豊岡市の視察をもとに)
- ② 我孫子市の第二次基本計画について

③ 環境行政として食料の自給率向上、農協との関係、農産物直売所、クリーンセンターの今後について

④ 交通行政として成田線の利便性向上、我孫子駅舎の改修、千葉柏(国道十六号バイパス)道路について

⑤ 福祉行政として地域活動支援センター、認知症対策などの取り上げについて

代表質問は、いつものように会派全員で意見を持ち寄り、何度も話し合いをしながら質問原稿を作り上げました。

◆請願「割賦販売法等抜本改正に向けた対応について」

請願では、連合から依頼のあった、昨年の「クレ・サラ金利引下げ等を求める請願」に続いて、今回は「割賦販売法等抜本改正に向けた対応について」を取り組みました。本請願に、あびこ二十一として賛同し、「悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求める件」を可決し、国に意見書を提出しました。

◆割賦販売法、ここがポイント◆

クレジット(割賦販売)は、代金後払いで商品が購入できる利便性により、消費者に広く普及し、現代社会では欠かせないものとなっています。しかし、この制度で契約書型ク

レジットが、主に訪問販売などによる強引・悪質な販売方法と結びつき、高額且つ深刻な被害を引き起こし、大きな社会問題となっております。被害のほとんどは、この契約書型クレジットの構造的な問題から生じており、クレジット会社の与信審査の甘さが大きな原因となっております。これらを取り締まるためにも一刻も早く、割賦販売法の抜本的な見直しをすることが必要です。

《九月議会での  
成田線関連Q&A》

Q：成田線輸送改善調査の四案の絞り込みと沿線自治体の負担割合など、期成会として具体的に決めていかなければ、いつまで経ってもJRに期成会として具体的な提案はできません。期成会会長として我孫子市がリーダーシップをとり、四案の絞り込みを行い、期成会に提案していただきたいが如何でしょうか？また、次のステップをどのように考えているのかお聞かせください。

A：七月十三日に開催した期成会総会で、期成会の名称変更を含めた今後の運営について検討することが承認され、八月二十九日に構成市町村の担当課長で構成する幹事会で検討に入りました。この検討会の中で輸送改善策の絞り込みと負担のあり方を検討することになっています。

市は輸送改善策の中では、事業費が一番安価であること、線区全体で増発効果を受受できることから「成田駅に電留線を新設した増発」(案)が望ましいと考えています。

また、これまでのJR東日本との折衝で、増発のための負担を示さなければ実現は難しいと判断をしています。さらには、負担割合については、利用者の多い自治体と少ない自治体での温度差があり、協議が難航することが予想されますので、各自自治体の成田線利用者数を基本において調整する必要があると考えています。

市としてはこのような考え方を幹事会に提案し、年内を目途に幹事会での結論を出したいと考えています。来年一月に臨時総会を開催し、二月中に負担を含めた具体的な提案をJR東日本にしていきたいと考えています。

Q：複線化用地の有効活用について伺います。我孫子市内の複線化用地は市の名義分とJRの名義分の土地がありすが、この際、持分区分をしつかりと把握し、今後の複線化用地の有効活用策を含めて、総合的に検討する必要があると考えますが如何でしょうか？

A：市内の複線化用地は市が新木地区の約三百四十メートルと天王台地区の約三百八十メートルを、JR東日本の湖北台地区の約千九百メートル、新木地区の約二百メートル、布佐平和台地区の約千七百メートルを管理していますが、泉地区の一部に複線化用地として確保されているような箇所があり、現在この用地を確認しているところです。

活用が考えられる用地としては、複線化用地の現況から判断すると市

が管理している新木駅南側地区の用地が考えられます。地元の南新木自治会からも、この用地の有効活用を検討を依頼され、市と南新木自治会で花壇を作ることを協議していましたが、南新木自治会から断念したいとの報告がありました。市としては引き続き南新木自治会と活用策を検討していきます。

Q：特別快速の我孫子駅停車について、次期ダイヤ改正で実現を強く求めたと報告がありますが、我孫子駅は成田線の始発駅であり、成田線の利用者にとって早急に実現してほしい要望の一つです。我孫子駅北口の開発や南口から旧沼南側へのバスの発着等を考えても、我孫子駅へ特別快速の停車は喫緊の課題です。特別快速の我孫子駅停車の見込みについてお聞かせ下さい。

A：七月十七日に期成会で、「特別快速」の我孫子駅停車の実現を求めた際のJR東日本東京支社の回答は、「特別快速は速達性を重視して現状の停車駅としているが、引き続き利用状況を見させていただき、要望に応えられるか検討していきたい」とのことでした。

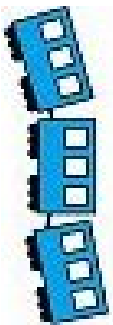
現時点では、これ以上の回答はJR東日本東京支社から引き出せていません。市としては、次のダイヤ改正での「特別快速」の我孫子駅停車の実現に向け、引き続きJR東日本東京支社に強く働きかけていきます。

以上ですが、印南 宏はこれからも、成田線の利便化に向けて先頭に立って努めてまいりる所存です。ご意見等いただければ幸いです。

どうする市民会館の今後は！  
(市民会館跡地利用  
検討委員会中間報告)

市民会館は、耐震上の問題から今年三月末で閉鎖されています。新たな文化施設(ホール)については、ホールの目的や機能を検討するため、市民、専門家、市職員で構成する「文化施設検討委員会」が、また整備手法や場所等の検討を行うために、市職員で構成する「市民会館跡地利用検討委員会」が設置されています。

九月議会に市民会館利用検討委員会の中間報告書が示されました。これまで、平成十八年十一月十七日に「我孫子市民会館跡地利用検討委員会報告書」が策定され、市民会館跡地利用の基本方針がまとめられました。この中では跡地利用の課題として、新市民会館の建設着手までの期間を考えると建設と一体となった起債事業対象とできず撤去費用の手当が難しいことから、市民会館用地の売却及び新たな建設場所の選定を検討すべきこと等が示されました。この方針を受け、中間報告書では「防犯・防災上の安全面から施設を速やかに除却することが必要であること、また、除却費用の捻出が難しいことなどから、旧市民会館を建物ごと売却することが適切な方法である」との新たな方針が示されました。



宏はいつか考える！

閉鎖された市民会館が、いつまでも仮囲いされたままで存在することは、市のイメージや防犯・安全対策の観点、景観からも好ましいことではありません。早急に対処しなければならぬと考えます。また、現在の場所は北東側が第一種低層住宅専用地域となっているため、日影規制が適用され、高層建築は困難となっています。従って、庁舎単独あるいは市民会館と庁舎との複合施設として開発、整備することも適当ではないと思われま。

まずは建物ごとの売却先を早急に確保し、新たな建設検討組織にて、建設に向けた財源や建設場所、時期など具体的に決めていくことが大切です。現在の我孫子市の財政状況から判断すると、市の他事業の見直しや延期、廃止など総合的に判断して新市民会館を建設していくことが必要なことだと考えています。



平和台雑感

◆我孫子市の高齢化率(六十五歳以上)は、現在二十%である。平成三十二年には三十%を超える。長生きして良かったと実感できる長寿社会にしたい。それがみんなの願いである。

先月開かれた平和台「寿賀の会」は七十一名の参加者で、当日は歌や体操などで楽しいひと時を過ごされたと聞いた。「子供泣かすな、来た道だ。年寄り笑うな、行く道だ。」人は皆生きていく限り、時間は平等に進む。今を生きている感謝の気持ちをお返しにしたい。◆高齢者に関わる制度変更が相次いでいる。無料だった介護保険料は二〇〇〇年には月約四千元の徴収が決まり、二〇〇二年には第一次医療制度改革、二〇〇四年には公的年金の老年者控除を廃止した。そして第二次医療制度改革で来年四月からは七十代前半の高齢者は医療費自己負担が一分から二分に増える。七十五歳以上の後期高齢者も新設される後期高齢者医療制度により保険料、介護保険料が年金から天引きされる。膨れ上がる医療・介護費をどうするか？財源確保には三つしか方法は存在しない。税金、保険料、自己負担。このうち自己負担が、病気になる頻度が高い高齢者にはもつともきつい。この方法は高齢者以外には痛みがわかりにくく、最も導入しやすい方法だ。しかし、高齢者に安心を与えるためにも、国民全体の問題として正面切って説得し、制度を変更、税金に財源を求めべきだと私は思うのだが。◆十月七日ヴィヴァ・マンドリーノ第十回定期演奏会へ夫婦二人で出掛けた。マンドリンとギターの心地よい演奏の数々、記念すべき第十回演奏会にふさわしいゲスト(童謡歌手)との競演など、出演者の皆さんのすばらしい演奏ぶりに大拍手。会場の柏市民文化ホールを後にするとき、今年三月末で閉鎖した我孫子市民会館のことを思っ

た。コンサートのできる一千席の市民ホールは十三万都市の我孫子市にも必要なのだと痛感した。◆改正道路交通法が施行され、酒酔い運転の罰則強化など職場や地域社会でも飲酒運転追放の機運は高まっている。ただ、知っておきたいのは、注意されても飲酒運転を繰り返す人の中にアルコール依存症の方が多いことだ。酒を飲むことがすべてに優先し常識が麻痺してしまいやすい。診断基準に基づく患者数は約八万人、疑いがある人は四百四十万人と推定されている。「飲酒運転は懲戒免職」といった罰則強化だけでなく、「依存症予備軍」の従業員、市民が早く治療を受けられるようにすることも必要なのである。◆「夢の力」は大きい。夢があるから人は生きられる。夢は見るものではなく、実現するもの。夢のある地域、自治体は伸びる。多くの方と街の未来、夢を語り合いたい。先日、「夢七訓」という訓を新聞で見つけた。①夢なき者は理想なし。②理想なき者は信念なし。③信念なき者は計画なし。④計画なき者は実行なし。⑤実行なき者は成果なし。⑥成果なき者は幸福なし。故に幸福を求める者は夢なかるべからず。夢をおおいに語って生きていきたいものである。

ハウジング眼

大正四年に吉井勇の詩に中山晋平が曲をつけて発表された。黒澤明の映画、「生きる」のラストで志村喬が歌う名シーンは覚えている方も多と思う。自治体職員には欠かすことのできない作品である。

印南 宏 後援会  
〒270-1198 我孫子市日の出 1131  
(日本電気労働組合我孫子支部内)  
Tel 7184-2860  
印南 宏 自宅  
布佐平和台 7-1-18  
Tel 7189-1598  
e-mail innami@mqd.biglobe.ne.jp  
ブログ http://hiroshi4649.at.webry.info/



いのち短し 恋せよ少女  
朱き唇 褪せぬ間に  
熱き血潮の 冷えぬ間に  
明日の月日の ないものを  
いのち短し 恋せよ少女  
いざ手を捕りて 彼の船に  
いざ燃ゆる頬を 君が頬に  
ここには誰も 来ぬものを

宏